

○議長（中村 実君）

以上で、吉川議員の質問が終わりました。

関連質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

関連質問なしと認めます。

3時20分まで暫時休憩いたします。

〈午後3時08分 休憩〉

〈午後3時20分 開議〉

○議長（中村 実君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、佐藤 孝議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。〔7番 佐藤 孝君登壇〕

○7番（佐藤 孝君）

日本共産党の佐藤 孝です。

通告書に基づき、1回目の質問をいたします。

1、新型コロナ対策について。

(1) 特別定額給付金について。

- ① 給付対象者数、申請書送付数、手続完了数はどうなっていますか伺います。
- ② 生活保護世帯、外国人技能実習生等の申請状況について伺います。
- ③ オンライン申請の状況については、どうなっているか伺います。
- ④ 高齢者世帯等、申請弱者の手続書類不備の状況について伺います。
- ⑤ 未申請者に対して、申請を呼びかける必要があると思いますがいかがでしょうか。

(2) 新型コロナ緊急事態宣言による市内への影響について。

- ① 売上減少による廃業等の状況はどうなっているか伺います。
- ② 飲食店や宿泊施設の業績不振による失業者の増加、生活保護世帯の増加等は現れていないか伺います。
- ③ 医療機関の受診者数の減少や、医療機関の経営状態の悪化が全国的な問題となっていますが、糸魚川市内ではどうか伺います。
- ④ 全国的に、派遣切りや非正規切りが報道されております。糸魚川市では、会計年度任用職員が多く、小中学校も休校になりましたが、非常勤職員のこの間の扱いはいかがであったか伺います。

(3) 自粛解除後、新しい生活様式について。

自粛が解除されて、飲食店や宿泊施設が復活に動き出しております。新しい生活様式では、人との間隔はできるだけ2メートル（最低1メートル）空けるようにと言われておりますが、以下伺います。

- ① 人との間隔は最低1メートルと言われておりますが、聴覚の衰えた高齢者の多いこの地区では、意思の疎通がますます悪くなり、認知症の増加にもつながりかねないと思われまます。補聴器の必要性が増すと思われまますが、いかがでしょうか。
- ② 学校では授業が再開されておりますが、この際、全国に先駆けて少人数学級実現を目指し、子育てのまちをアピールしたらどうかと思われまますがいかがでしょうか。
- ③ 市内飲食店や宿泊施設の復活を目指した事業が始まらまますが、市の事業、県の事業、国の事業があり、事業者には分かりやすい説明が必要と思われまますがいかがでしょうか。

以上、1回目の質問といたしまます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

佐藤議員のご質問にお答えいたしまます。

1点目の1つ目につまますは、給付対象者数は4万1,809人、申請書送付件数は1万7,359世帯であり、6月11日時点での支払完了数は、1万6,319世帯となつております。

2つ目につまますは、把握いたしておりまません。

3つ目につまますは、6月11日時点で259世帯の申請が行われております。

4つ目につまますは、高齢者等に関わらず、申請の不備が全体の4%程度あります。

5つ目につまますは、今後の申請状況を踏まえ、給付を希望される人が受けられるように対応してまいます。

2点目の1つ目と2つ目につまますは、現時点では感染症拡大を直接的な原因とした廃業、解雇や生活保護世帯の増加は確認いたしておりまません。

3つ目につまますは、市内医療機関においても同様であると考えられることから、今後も地域医療体制の維持・確保のため必要な支援を維持してまいます。

4つ目につまますは、今回の影響による会計年度任用職員の解雇はありません。

3点目の1つ目につまますは、新しい生活様式の実践に伴い、コミュニケーションは取りにくくなるものと思われまます。

2つ目につまますは、少人数学級の実現に向け、引き続き国や県に要望してまいます。

3つ目につまますは、今後とも分かりやすい説明に努めてまいます。

以上、ご質問にお答えいたしまましたが、再度のご質問によりまますは、所管の部・課長からの答弁もあまますのでよろしくお願いいたしまます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

それでは、（１）の特別定額給付金についてであります。

給付対象者につきましては、基本的には令和２年４月２７日において住民基本台帳に記録されている者と、こうなっております。外国人につきましては、中長期在留者、特別永住者等、４つの区分に該当する人たちが住民基本台帳に記録されるようではありますが、外国人技能実習生につきましては、このうち中長期在留者として住民基本台帳に記載されている。こういう考え方でよろしいでしょうか、確認させていただきます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

川合市民課長。〔市民課長 川合三喜八君登壇〕

○市民課長（川合三喜八君）

お答えいたします。

佐藤議員おっしゃるとおりでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○７番（佐藤 孝君）

この特別定額給付金給付事業実施要領というのが４月３０日に出ておりますが、その第５の申請受給権者の考え方について、ちょっと確認させてください。

DV等避難者については、世帯主から逃れている場合、世帯主に申請書が届くだけで本人に給付金が届かない可能性が高いため、居住市町村に申請し、受給権者となるようになっているようがあります。この点からは、誰一人取り残さないという姿勢を感じております。もっとも家庭の中で我慢している被害者には、恩恵は難しいとは思いますが。このほかにも、施設入所等児童等の取扱い、措置入所等障害者、高齢者の取扱い、ホームレス等の取扱い、無戸籍者の取扱いと、細かく申請者を増やす対策が記載されております。この給付金１０万円は、差押えの対象にもしないこととなっております。全ての国民、市民が、コロナ禍に耐えるため、一人残らずに１０万円を給付申請し、受け取って、この大災害から生き延びる助けにしてほしい。一人残らず、とにかく一人残らずに。こんなことがこの事業の実施要領の各所から垣間見えております。糸魚川市民は、一人残らず特別定額給付金を申請し、受け取ってほしいと思っておりますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

今回の特別定額給付金の趣旨は、議員おっしゃるようなことで始まっているというふうに思っております。そういうわけで、希望される方が全て給付を受けられるよう私たちとしてもいろいろ、また、まだ先ほど市長答弁でも申し上げましたようにもう１，０００ぐらい申請されてない方がいらっしやいます。中には、もう要らないよということで、意思表示もされた方がいらっしやいますけれども、希望される方については、皆さんのお手元のほうへ届くように努力してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

私の以上の思いを前提に、2回目の質問に入ります。

申請者につきましては、一般家庭と違う人たちの扱いが気になりますが、次の人たちについての当初の申請書送付状況はどうなっておりますでしょうか。DV等避難者、施設入所等児童等、措置入所等障害者、高齢者、ホームレス等、無戸籍者、この方についての申請書送付につきましては、どうなっておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

高齢者のみ世帯については、住民基本台帳の4月1日現在の数字ですと6,450余りの世帯があるというふうには押さえておりますけども、先ほど議員申したように、今回のものについては4月27日が基準日でございますので、若干それと、その数字とは、ずれてるかと思っておりますけども、高齢者のみ世帯については、6,400前後ではないかというふうに考えております。

ほかの部分については、そこが、DVの避難者とかという部分については、うちのほうで把握しながらやっておりますけども、何件という部分については、この場でのお答えは控えさせていただきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

それでは、申請書を受け付け始めて以降、ホームレス等、また無戸籍者、そういう方からの、そういう方に対する対応というのはございましたでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

当市におきましては、ホームレス、無戸籍者に対する対応というものは、現在のところありません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

生活保護世帯につきましては、この給付金は収入認定をしないことになっております。当初、私

が聞いたところによりますと、私らどうせ生活保護世帯は、そういう臨時収入があると、それみんな保護費から引かれてしまうから、私ら関係ないんだというような、そういうような声があるという話を聞きましたが、この件につきまして給付金は収入認定されないんだよということを生活保護者にしっかり周知するようなことはなされましたでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

5月10日号の広報と一緒に今回、給付金に関するお知らせということで、いつ申請書を発送しますよとか、こういう内容になってますよというチラシを配布させていただいたわけですが、その裏面に想定される主な質問項目を幾つか載せて、掲載させていただきました。その中に生活保護世帯の方については、今回の給付金については収入認定をしないというようなQ&Aを載せさせていただきました。また、市のホームページについても同様なチラシを掲載させていただいているというような状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

糸魚川市は、外国人技能実習生、これが結構大勢おられると思います。こういう外国人技能実習生を雇っている事業所の数、実習生の人数について、分かったら教えていただきたいと思いますが、お願いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

外国人技能実習生の数につきましては、4月末現在で138人であり、また、外国人労働者を受け入れられている事業所数につきましては、令和元年10月現在であります、42社となっております。そのうち技能実習生を雇用している事業者につきましては、資料として公表されておらない状況であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

先ほど確認しましたように外国人の人たちも、この中長期残留者として住民基本台帳に記載されていれば、10万円給付の申請ができるわけですし、この人たちの申請状況については、現在分かりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

給付金の事務の中において、国籍が分かる条項というものはありませんので、名前からしてそうだとと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、はっきりと外国人の方が何名いて、何名申請いただいているかという部分については、把握しておりません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

それでは、オンライン申請の状況ですが、現在259ということですが、全国でオンライン申請がトラブルがあって、中止せざるを得なかった自治体も相次いだようではありますが、糸魚川市では順調でしたでしょうか。例えば口座の入力ミスがあったとか、多重申請があったとか、そういうことが全国的に問題になってるようですが、この点について教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

糸魚川市の場合は、先ほど市長答弁にもありましたように259ということで、数自体そんなに多くなかったということが1つでありまして、ただその中でもやはり全国と同じように1人で何件も申請というか入力をしてしまったとか。あと、これのほうはオンラインに限らないんですけども、やはり申請の添付書類が不足しとったとか、あと不鮮明だったとかというような内容の不備というものが見受けられるような状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

オンライン申請につきましては、恐らくマイナンバーカードを作る人が徐々に少なくなってきているものだから、これを機会にマイナンバーカードを作ってもらおうというのが、ちょっと腹の中にあつたものだと思うんですが、これでオンライン申請の関係でマイナンバーカードを作る人がどれぐらい増えたものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

川合市民課長。〔市民課長 川合三喜八君登壇〕

○市民課長（川合三喜八君）

マイナンバーカードの申請状況につきましては、本年3月から増加しております。増加の原因につきましては、カード取得の目的をお聞きしておりませんので、オンライン申請によるものかは分かりません。

ただ、今回のオンライン申請のほかにも本年9月から実施されますマイナポイント、あるいは来

年3月から実施予定の健康保険証のマイナンバーの利用が影響し、増加したものと思われます。  
以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

それでは、3月からどれくらい増えているか分かりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

川合市民課長。〔市民課長 川合三喜八君登壇〕

○市民課長（川合三喜八君）

お答えいたします。

本年の1月、2月が、一月の申請がそれぞれ約120件、3月、4月が、それぞれ約220件でございました。5月が急増いたしまして、1カ月間で468件でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

先ほど一緒に聞きゃよかったんですけども、結果、全体の何%ぐらいマイナンバーカードを作ったんでしょうか、現在。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

川合市民課長。〔市民課長 川合三喜八君登壇〕

○市民課長（川合三喜八君）

本年5月末現在で、市民で取得されている方が7,148人おりまして、全体の16.6%でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

マイナンバーカードにつきましては、私は疑問を持ってるわけなんですけども、お年寄りがマイナンバーカードを作っても暗証番号というんですかね、そういうのを忘れてしまう。自分でも結構そういうのを忘れがちなんですけども、落とす可能性もあるというようなことで、これはどうかなと思ってるんですけども、今現在16.6%ということで、全国的にもこんなもんなんでないかなとは思っております。これは、あんまりこれは、この先も増えないんじゃないかなというような気もしております。そこはそれでやめときます。

高齢者世帯、申請弱者の手続の不備が4%ぐらいあるということでありまして、申請書は日本中の全世帯に配られたものでありまして、高齢者や視覚障害者、外国人まで大勢の対象者がいるわけ

であります。記入部分や添付書類は、必要最低限にすべきものだと私は思います。まるでひっかけ問題のような給付金の受給を希望しないというチェック欄の存在は、私の考える事業の目的からすると非常に違和感がありましたが、実際それを利用してバツをつけた人もおられたということで、これは本人が本当の気持ちでバツつけたのだか、よく分からずにバツつけたんだか、そこら辺もちょっと心配なんですけど、そこら辺はどんなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

今回の糸魚川市の申請様式については、国の実施要項に載っている様式を参考に作らせていただきました。そん中でやはり今議員おっしゃるように申請をしないという場合については、チェックをつけてくださいという欄が、当市の申請書の中にもありました。それで、やはり申請をしてくださってる、郵送なものですから申請してくださってる中には、そこにチェックをつけていただいた申請書もありました。その場合については、一件一件もう一回、電話等でご本人の意思を確認する中で処理をしているというような状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

お手数ですが、そうやって確認していただきたいと思います。

もう一つですが、受取人の口座番号や通帳のコピーを添付した上に本人確認の資料を添付する必要がある、今回ありました。申請書は、本人宛に郵送して、市役所から本人の名前やらそういうものが記載されている申請書が送られたわけですが、それを確認した本人が、通帳の口座番号を書いて、通帳のコピーまでつけている。そういう状態なのに、さらにまた健康保険証のコピーが要するというので、私のところにもうっかり申請書を出したら、健康保険証のコピーをつけろと言われてた。そういう人がおりましたけども、本人確認の書類というのは、やっぱり申請書の偽造というか、口座の偽造みたいなようなことを考えて、これをつける必要があるということになったものなんじゃないかな。ちょっと疑問がありますんで、ちょっとお願いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

今回の特別定額給付金の事務については、国からの受託事務ということで、先ほども議員おっしゃった事業の実施要領に基づいて行いなさいということで、通知が来ております。その中で、今ほど言われた申請者本人の身分証明書となるものの写しをつけなさいという指導でございますので、私らにとっては、本人の通帳の写しなり、申請者が自署して判こを押すなりということで、それでも本人の申請ということで確認できるのではないかなというふうな感じもいたしますけども、今回、申請者が本人だという部分をより厳格にしたいということで、国ではそのような実施要領の中で本

人の申請、確認書類をつけるという取扱いになってるというものだというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

この実施要領には、申請弱者に対する代理申請についても記載がされております。世帯主が寝たきり、認知症の場合、知覚障害等の場合の代理申請というのは、糸魚川市では出てきたものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

その世帯に複数の方がいらっしゃる場合については、世帯主以外の方が代理で申請して、その代理の方の口座のほうへ振り込むというような代理申請というのは、相当数あったかというふうに思っております。とにかくそういう本人の意思がある程度明らかに申請するというので、ただ、字がなかなか書きにくいとかという方については、家族が書いて判こを押したのものについても、別に世帯主本人の名前で申請いただければ、代理申請ということではなくて代筆という形で取り扱っておりますので、そういう意味での代理申請というものについては、そう多くありませんでした。

ただ、成年後見人等で制度を利用されてる方については、今回については数十件そういう方の成年後見人の方から代理の申請というものはあったという状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

じゃあ民生委員とかが代理にして出る形は、とりあえず委任状もつけてというのもとりあえずなかったということ。

では、⑤になりますけども、特別定額給付金の申請給付は、申請受付開始と同時に勢いよく進んだようであります。1人も残らず申請して受け取ってもらいたいとは思いますが、残りは、わずか数%になってから全員給付への壁が現れてくると思われるんです。申請期間は3カ月で、8月17日までであります。全市民申請に向けた対策については、どんな策を考えておられるでしょうか。お願いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

この6月10日号のおしらせばんで、申請書は全世帯送ったんですけども、と言うようなご案内を出させていただきました。それで、届かない方がいらっしゃいましたらご連絡いただきたいというのをまず出させていただきました。今後、今1日100件を切っているような申請状況でござい

ます。先ほど申し上げたように、あと1,000件ぐらい残っているということで、その申請の状況を見ながら、最終的にはまだ出されてなくて、申請の意思がないよと表明した、意思表示をした方以外の方については、再度、もう一度ご案内をさせていただいて、その後どのような形で申請書が出てくるかというのを見て、また次の手を検討していきたいというふうには考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

糸魚川大火の際には、被災者全戸に対して丁寧に糸魚川市が対応されたようであります。このコロナ緊急事態における定額給付金につきましても糸魚川大火への対応の経験を生かして、市民はもちろん、もしDV被害者とか避難者とかが、これから出てきた場合にも丁寧に対応して、全ての人に手を差し伸べていただきたいと思います。他の自治体では、コピー機を山間地域に運んで申請相談を受けたとか、そういうようなことをやってるところもあるようであります。また、ホームレス等についてですが、夜間受付の宿直代行のところにホームレス等の人が来る場合も考えられますので、そこら辺も対応をよろしくお願ひしたいと思います。

給付金対策室には、頑張ってもらってらるわけですが、もう一頑張り、二頑張りして、市民全員がもらえるように頑張ってもらいたいと思いますが、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

先ほど申し上げたように希望される方については、給付金がお手元に届くように事務を進めてまいりたいというふうには考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

神奈川県にいる私の知り合いなんですけど、6月初旬になってようやく定額給付金の申請書が届いたと、私、話聞きました。糸魚川市は頑張ったほうではないかと思ひます。申請書が届いてからは、予想以上のスピードで申請が行われているようであります。このことは、国民、市民に体力がないことの反映であると思ひます。1人当たりの市民所得が低い糸魚川市においては、この1人10万円は、大変にありがたいお金であります。小規模な農家を続けた後、年金暮らしになった人たちや、そういう人たちほど年老いて、視聴覚障害者や入院暮らし等の申請難民となっている可能性が高いと思ひます。申請してない世帯を把握できるのは、市役所だけだと思ひます。ぜひ低年金の申請弱者全てに、給付金が行き渡るよう対策を取っていただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

これで次、(2)に移りますが、ハローワーク糸魚川の雇用統計、令和2年4月分によりますと、昨年10月の消費税増税後、有効求人倍率は低迷を続けておりました。今年の4月には、もう一段の下落がありまして、昨年4月に1.77倍だった求人倍率が、今年は1.33倍へ0.44ポイント

ト低下しているそうであります。この小規模の飲食店や宿泊施設においては、社会保険や雇用保険の対象とされていないアルバイトやパート労働者が多く、その人たちが事業を支え、自分の生活費の一部を稼いでいるような形であります。こういった市やハローワークが把握し切れないところから、コロナの影響が出てきていると思われませんが、その点、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

企業や店舗等が、営業が不振で従業員を休業させる場合には、雇用調整助成金の対象となるわけなんです。本来は雇用保険等が掛けてあった場合、対象となるわけなんです。今回、コロナの特例といいますか、制度の拡充で雇用保険等を掛けていないアルバイトですとかパートの皆さんにつきましても、緊急雇用安定助成金ということで対象になっておる状況でございます。

ただ、事業主の方がこれらの制度を使わずにいた場合、これらの方から収入が減少しまして影響が出てくるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

実際にアルバイトみたいで働いている人たちは、なかなか中小の飲食店やなんかでは、そういう手続もできない状態なのだということが推測されます。

また、コロナの影響で全国的には生活保護申請が増えているようですが、糸魚川市では、そういう傾向はありませんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

嶋田福祉事務所長。〔福祉事務所長 嶋田 猛君登壇〕

○福祉事務所長（嶋田 猛君）

お答えいたします。

生活保護に関する相談につきましてはあるものの、申請・決定には至っていない状況であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

厚生労働省は、4月7日付の事務連絡で新型コロナウイルス感染防止等のための生活保護業務等における対応についてという文書を出しております。緊急事態措置区域における緊急事態措置期間、この期間は、とりあえず終わったのかもしれませんが、生活保護業務の対応の周知を行っております。申請相談の簡素化とか、一時的な収入減の人に対する車の所有についての対応が示されております。糸魚川市では、とりあえずそういう関係はなかったということですが、このコロナの影響は、そういう中小の飲食店等にとっては、今現在、ようやくいろんな給付金やら何かでもって、

何とか生きてるような状態、これが徐々にボディーブローのように効いてくるのはこれからだと思いますので、今後もし生活保護の申請なんかあったら、できるだけ通達に準じたような形で対応していただきたいと思います。

コロナ感染防止対策の成否が鍵を握るとは思うんですが、これまでも増して中小事業所の経営実態をつかむ努力をして、それに応じた対応・対策を取ってもらいたいと思いますが、その辺いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

現在でもハローワーク糸魚川とは、逐次、情報交換をしておりますし、また、糸魚川商工会議所、能生、青海商工会とも随時、連絡を取り合っております。また、内容によっては、信用保証協会等ともいろいろ情報交換をしておるところでありまして、引き続きこれら関係団体と情報交換をしながら、企業の経営状態の把握に努めてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

それでは、（２）③に移りますが、医療機関の受診者数の減少は、新型コロナウイルス感染を案じて国民が受診抑制をしたことによると言われております。コロナ感染者を受け入れた医療機関ほど患者が減少し、経営が悪化していると言われておりますが、その他の医療施設も通院患者の減少等が見られております。医師不足、看護師不足に悩む糸魚川市にとっては、医療機関の経営悪化は、将来が非常に心配であります。受診抑制の原因は、感染したら確実な治療もなければ、重症になったときの集中治療体制も整っていないせいではないかと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

佐藤議員がおっしゃいましたように新型コロナウイルスに関しましては、治療方法が確立されておられません。重症化するおそれもあることから、人との接触を避けて、受診を控える行動につながったというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

ICU等の病床に関する国際比較について、これは厚生労働省医政局によって出された資料ですが、これによりますと10万人当たりのICU等の病床数は、日本は4.3床で先進国の中で最低となっております。あの感染拡大したイタリアでさえ10万人当たり12.5床だそうです。また、

日本のデータとして、各都道府県別 I C U並びにハイケアユニット等のベッド数という資料によりますと、I C Uとみなされる患者 2 名に看護師 1 名を配置する病床数の都道府県別比較が載っております。それによると、新潟県は 1 0 万人当たり I C Uベッド数は、全国最低の 1. 4 であります。全国平均は 5. 6 となっておりまして、新潟県は全国平均の 4 分の 1 しか I C U病床はございません。この状況は、今後を考えますと放置するわけにはいかないと思いますが、いかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

今、I C Uの県内の状況というのを聞かせていただきました。大変少ないという実感を持っております。I C Uにつきましては、地域医療には不可欠でありまして、今後、県内の医療設備が拡充されるよう、市としましても国や県への働きかけについては強めていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7 番（佐藤 孝君）

今まで国が進めてきた保健所や公的病院の統廃合の路線を転換させるべきだと思います。このような未知の感染症の検査体制、治療体制を整えてもらわなければ、新潟県も糸魚川も医療後進地域として過疎が進むばかりだと思います。国や県の方針転換を求めて、ぜひ頑張ってくださいと思います。

次に、④ですが、全国で大手自動車会社系企業や大手百貨店等で派遣切りがあり、非正規労働者は、前年 4 月に比べて 1 0 0 万人減ったとも言われております。雇用調整助成金制度も利用してもらえず、雇い止めとなった人も多いと言えます。緊急時に真っ先に非正規労働者にしわ寄せが来ます。糸魚川市では、4 月から 5 3 0 人ほどの会計年度任用職員が働いておりますが、教育補助員や学校給食員は、着任早々のコロナ緊急事態に見舞われております。

文部科学省は、4 月 1 日に続き 4 月 7 日に新型コロナウイルス感染症に対応した臨時休業の実施に関するガイドラインの改定についてという通知を出しております。この中に非常勤職員等の業務体制の確保に関する事という項目があり、適切な対応というのを取ることを促しております。学校関係ばかりでなく、市が会計年度任用職員を配置している市の他の管理施設についても同様に、できるだけ休業や自宅待機等で収入を減らさないように、そんな対応を取る必要があると思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

休校や休業になりましても、その施設にとってやらなければいけない仕事というのもございますし、幸い会計年度任用職員、市が全部雇用しているものですから、ほかの職場での勤務ということもできるかと思っておりますので、そういう部分もやりながら、継続して雇用できるように取り組んでまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

先ほどの市長の答弁で、このコロナで会計年度任用職員の、早い話が首切りですけども、そういうことはやらなかったということで、そのほかにもやっぱり時給等も安いものですから、首切らないばかりでなくて、本当に別の仕事でも何でも探して、収入を減らさないような努力をしていただきたいと思っております。

民間企業では、労働者の都合で休業するのでなければ、休業手当とか休業補償が対象になると思いますが、会計年度任用職員の場合は、こういう休業補償、休業手当の点では、どうなっていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

会計年度職員でありましても、休業手当の対象となります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

今回の新型コロナウイルスが世界中を騒がした3月18日から6月4日までの11週間で、世界の巨大企業、Amazonやフェイスブックの創業者等は、億万長者であります。資産を61兆円もコロナ禍で増やしたといえます。日本でも資本金10億円以上の大企業は、このコロナ禍の中でも内部留保をどんどん増やし続け、487.6兆円に達したと言われております。格差は広がるばかりであります。せめて、地方自治体には市民の生活を守るために力を尽くしてほしいと思えます。よろしく願いいたしたいと思えます。

それでは、(3)に行きます。

(3)の①です。昨年の12月定例会で高齢者に対する難聴対策について私が質問しましたが、本年の3月定例会では、古川議員から補聴器購入の助成の件について質問がありまして、市長から検討するとの答弁をもらったところでありまして、聴覚障害は、6級から障害者と認められるようですが、6級の障害程度は40センチ以上の距離での会話を理解し得ない者となっております。新しい生活様式では、最低1メートルという人との間隔が求められております。40センチまで近づくとわけにはいかないわけです。

また、特別定額給付金申請を、もし民生委員等の代理人が行うにも、これは非常に苦労があると思います。早急に検討に入るべきだと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

嶋田福祉事務所長。〔福祉事務所長 嶋田 猛君登壇〕

○福祉事務所長（嶋田 猛君）

全国で新型コロナウイルス感染予防対策であります新しい生活様式が示され、人との間隔をできるだけ2メートル、最低1メートル空けることが実践されてるところであります。議員おっしゃいますとおり、高齢者のみに限らず、あらゆる年齢におきまして聴覚に障害のある方への支援は課題であると認識しております。今後、国や県の対応を注視しながら、引き続き補聴器の購入助成につきましては、検討してまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

この新しい生活様式というのは、国が国民に示したものであります。市は、市民に対してそれを求めることとなります。このときに大きなしわ寄せが難聴者にのしかかってくることとなります。市民の苦痛には、市が対策を取りながら県や国を動かしていくという立場、国のいう新しい生活様式を実践するために、市が始めざるを得ないので、始めるから国は早急に制度を設けてくれ、こういう形が重要だと思います。地方自治体は、国の下請機関ではないぞというこういう立場で、糸魚川市は県や国に先駆けて制度をつくり、県や国を動かしてほしいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

嶋田福祉事務所長。〔福祉事務所長 嶋田 猛君登壇〕

○福祉事務所長（嶋田 猛君）

お答えいたします。

今ほどの補聴器の購入助成につきましては、県内でも既に始めてる自治体等もあります。他市等の状況を見ながら、今ほどおっしゃってますとおり、市民の方々が生活しやすいような環境づくりに努めてまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

新潟県でも始めているところがあるようでございますので、ぜひとも他の市町村とも連絡取り合いながら、これは国の決めた生活様式を守るために必要なんだということで、これを進めていっていただきたいと思います。

続きまして、②ですが、私の家の近くに幼児2人を連れた若いお母さんがコロナ疎開してきております。もちろん緊急事態宣言の出される前に来たものであります。散歩がてら子犬や猫や自然に

興味を持って道草食いをしております。それを見る地域の人たちのほほを緩ませてくれております。

新しい生活様式には、地方分権型の社会を目指して、国も地方も新しい道を模索するまたとない機会が到来したと感じております。糸魚川は、現在、感染者は出ていないわけで、しかも過疎で学校も教室も空いてきています。海、山、川も昆虫も健在であります。これを機に糸魚川を大いにアピールすべきと思いますが、いかがでしょうか。必要があると思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野教育次長。〔教育次長 磯野 茂君登壇〕

○教育次長（磯野 茂君）

お答えいたします。

現時点で、まだ感染症が収まっていない、全国で収まっていない状況で、市外あるいは県外から、この状況で直ちに來ていただくということについては、市民感情もございますので、難しい面があると感じております。少人数学級の実現も含めて、ゼロ歳から18歳までの一貫教育方針に基づいた人づくりですとか教育活動が、糸魚川市のPRにつながるものというふうに捉えておりますので、アフターコロナを視野に入れながら、これらの取組を着実に進めてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

新型コロナで苦しんでいる人たちがいるというのに、それを利用してってなるのは、これは不謹慎と言われてもしょうがないところがありますが、このコロナが落ち着くところを見計らいながら、ぜひとも糸魚川市に都会へ出ていった人呼び込むような形、これは可能なんではないかと思えます。

先ほどの山本議員の話とも通じるところがありますが、よろしくお願ひしたいと思えます。

次に、③です。市では、飲食店等感染拡大防止対策補助金、この事業を経費の90%、上限10万円までということではじめました。その後、県が同様の事業を8%まで上限20万円で行うことを発表しております。詳細は伝わってきませんでした。本日の糸魚川タイムスによろやく詳細が載りました。市と県の事業には、整合性に問題があるとは思いますが、市が感染拡大防止休業協力金の期間終了とともに次の手を打ったことは、評価したいと思えます。

この市の補助金の申請状況は、今いかがになってるものでしょうか。拡大防止対策補助金のほうです。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

市の感染拡大防止対策補助金につきましては、5月12日から申請を開始、申請ができるように開始したところでありますが、県の今言われた3密対策支援金につきましては、概要が示されたの

は、約1カ月後の6月8日でございます。多少時期にずれが出てきておるわけであります。補助率ですとか、購入対象期間等につきましては、若干異なっているものの、内容は重なる部分が多いものになっておりますので、市といたしましても、この県の支援金がプレスリリースされた後につきまして、お問合せいただいたものにつきましては、市の制度と合わせて、この県の制度も事業者に対してご案内をさせていただいております。

ただ、同じ設備内容での重複した申請は、できないこととなっております。

なお、市の制度の申請件数につきましては、6月10日現在で90件であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

佐藤議員。

○7番（佐藤 孝君）

飲食店や宿泊施設の営業が、徐々に活発化してきますが、お客さん、市民と事業者の安心・安全を第一にどんと上がった花火がしょうしょうしょうしょうと落ちて消えるようなことにならないように、様子を見ながら次の対策を打っていただきたいと思っております。今現在、戦後の開発競争型の社会において、気温の上昇による異常気象は全世界で起きております。最近でも沖縄では、道路が水没している画像が放映されております。新しい感染症についても、エイズ、エボラ出血熱、SARS、MERS、新型コロナといった新たな難病が発生し続けておりました、この先もさらに強力な感染症が発生すると思わなければいけません。新しい生活様式で命を守りながら、地球を守る新しい道を全世界で追及しなければ、人類の未来はないぞと、喉元に脇差をあてがわれてるような、そんな警告されてるような状況だと私には思えます。ぜひ糸魚川市は糸魚川市の対策をしながら、全国に地球環境を守ること、これを訴えていくような活動をやっていただきたいと思っております。

以上で終わります。

○議長（中村 実君）

以上で、佐藤議員の質問が終わりました。

本日はこれにてとどめ、延会といたします。

大変ご苦労さまでした。

〈午後4時15分 延会〉